

◆中国・寧波市の「日中韓芸術祭」に奈良市から参加！ 開幕式で仲川市長も挨拶

9月28日(水)、中国・寧波で「日中韓芸術祭」が開幕し、10月5日(水)まで芸能公演や文化交流など多彩なイベントが展開されています。

開幕式では、寧波文化広場でセレモニーと3都市の芸能公演が催され、セレモニーでは、仲川市長が開幕をお祝いして挨拶するとともに、芸能公演には奈良市から2団体が出演しました。

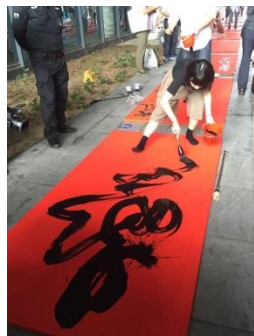
「梅若朝生会」は奈良の人々の暮らしに溶け込んできた民謡の数々を、「藤間流みやび会」は舞踊「松竹梅」を披露し、来場者は日本の伝統文化の美しさにうっとりしていました。

また、プログラムのひとつとして「地面書道芸術交流展」も開催され、奈良市からは奈良教育大学書道科の谷川雅夫准教授と、大学生の川脇知夏さん、中村円さんが参加しました。

この企画は、中国の地面に字を書く文化を3都市から参加者を募り皆で体験しようとするもので、交流作品の制作やセミナーへの参加など、日中韓の共通文化である「書」や「漢字」を通じて交流を深めました。



開幕式での仲川市長挨拶



交流作品制作の様子



「梅若朝生会」による民謡の披露



「藤間流みやび会」による舞踊

◆小学校、中学校で中国・韓国にちなんだ献立の学校給食を提供！ 食を通じて東アジアへの理解を深める

中国・韓国にまつわる献立を取り入れることで、児童・生徒たちにそれぞれの国の食文化に触れてもらおうと、奈良市内の全市立小学校と一部の市立中学校で「東アジア文化都市2016 奈良市」にちなんだ学校給食の提供を行いました。

9月23日(金)には中国にまつわる献立として、えびしゅうまい、マーボーなす・中華スープを、また、26日(月)には韓国にまつわる献立として「タッカルビ」(韓国語で『タッ』は鶏肉、『カルビ』はあばら骨のこと)と韓国の餅「トッポギ」を提供しました。

子どもたちは、食を通じてそれぞれの国への理解を深めるとともに、普段とは違った給食に、「美味しい給食、ごちそうさまでした！」と、教室には元気な声が響いていました。



みんなでおいしく「いただきます」



中国にちなんだ「えびしゅうまい」を盛り付け

◆第2回日中韓アマチュア囲碁大会に奈良市が参加

囲碁は中国から伝えられたと言われ、日中韓3か国共通の文化です。この3か国の囲碁の団体が参加する「第2回日中韓アマチュア囲碁大会」が9月22日(木)から24日(土)まで中国の寧波市で開催され、中国からは寧波市と上海市が、韓国からは済州特別自治道と順天市が、日本からは日中文化交流協会と静岡県、島根県益田市、そして奈良市の合計8チームが参加しました。

奈良市チームは、奈良県囲碁協会を代表して、三住忍さん、石原研三さん、和田薫二さんの三人が参加しました。

対局は23日、24日の両日にかけて6局行われ、白熱した戦いを繰り広げました。

団体トーナメントの結果は、奈良市は6位、優勝は静岡県で、参加者はそれぞれ囲碁を通じて言葉の壁を超えた交流を深めました。



対局の様子



表彰式。左端が奈良市チームの三住奈良県囲碁協会会長

10月に開催の広報連携事業のお知らせ

- 奈良・町家の芸術祭はならあと2016：10月1日(土)～10月31日(月)
- 日本中国学会第68回大会 特別講演会「寧楽(なら)と中国」：10月8日(土)～10月8日(土)
- 大和文華館 特別展「呉越国一西湖(せいこ)に育まれた文化の精粹」：10月8日(土)～11月13日(日)
- 奈良女子大学文学部公開講座 『秘蔵写真でたどる女子留学生の奈良—その夢と青春—』：10月22日(土)
- 楽面会作品展：10月25日(火)～10月30日(日)

大安寺会場へは無料シャトルバスのご利用が便利です 近鉄奈良駅～JR奈良駅～大安寺会場



運行日：10月23日までの毎土曜日・日曜日・祝日
 運行時間：近鉄奈良駅 8時30分から16時30分まで毎時30分発(近鉄奈良駅行基広場前)
 JR奈良駅 8時40分から16時40分まで毎時40分発(JR奈良駅西口12番乗り場)
 帰りもご利用できます
 大安寺臨時駐車場：9時から16時まで毎時0分発、最終17時15分発

土・日・祝日の11時から14時までの間、「足場の塔」の内部をご覧ください。この機会にぜひお越しください。

担当：奈良市東アジア文化都市推進課

電話：0742-27-0120

FAX：0742-27-0121

Mail：culturecity-nara@city.nara.lg.jp



公式HP



Facebook



Twitter